

所属名称：社会教育課

(単位：千円)

(款-項-目-事業名称)		(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
会 所 款 項 目	事業列3	予算額	決算額	列1	列12
一般会計					
社会教育課		517,342	299,147		
2.総務費		16,650	14,148		
7.地方創生事業費		16,650	14,148		
1.地方創生推進交付金事業費		1,940	1,934		
健康寿命プロジェクト		1,940	1,934	15-1	
2.地方創生加速化交付金事業費		14,710	12,214		
ことつら健康寿命延伸活動(社会教育課)		14,710	12,214	15-2	
うち繰越分		14,710	12,214	15-2	
9.教育費		496,578	283,657		
4.社会教育費		233,353	230,641		
1.社会教育総務費		8,166	7,606		
ことつら10秒の愛～やさしさの貯金～		354	335	15-3	
家庭教育支援推進事業		172	145	15-4	
次世代ことつらっ子育て推進事業		1,131	1,059	15-5	
社会教育振興		3,875	3,654	15-6	
寿大学		81	61	15-7	
青少年育成啓発事業		839	730	15-8	
男女共同参画推進事業		458	404	15-9	
文化活動事業		1,058	1,023	15-10	
無盡庵管理		199	195	15-11	
2.公民館費		44,071	43,450		
安田地区公民館活動事業		458	447	15-12	
安田地区公民館管理事業		468	462	15-13	
以西地区公民館活動事業		461	428	15-14	
以西地区公民館管理事業		466	437	15-15	
一般管理		34,315	33,968	15-16	
浦安地区公民館活動事業		646	625	15-17	
浦安地区公民館管理事業		554	553	15-18	
下郷地区公民館活動事業		544	541	15-19	
下郷地区公民館管理事業		652	625	15-20	
古布庄地区公民館活動事業		490	480	15-21	
古布庄地区公民館管理事業		516	506	15-22	
上郷地区公民館活動事業		331	320	15-23	
上郷地区公民館管理事業		421	420	15-24	
成美地区公民館活動事業		479	473	15-25	
成美地区公民館管理事業		822	818	15-26	
赤碕地区公民館活動事業		680	615	15-27	
赤碕地区公民館管理事業		480	460	15-28	
八橋地区公民館活動事業		701	686	15-29	
八橋地区公民館管理事業		586	586	15-30	
3.文化財保護費		77,691	77,302		
赤崎台場跡保存・活用推進事業		249	229	15-31	
大高野遺跡保存・活用推進事業		70,023	69,906	15-32	
うち繰越分		64,651	64,639	15-33	
町誌編さん事業		51	23	15-34	
町内文化財保護事業		6,529	6,417	15-35	
民俗資料館管理		839	727	15-36	
4.埋蔵文化財発掘調査費		16,406	16,286		
国道9号線別所地区交差点改良事業に伴う発掘調査事業		3,771	3,768	15-37	
町道別所東線道路改良工事に伴う発掘調査事業		11,372	11,267	15-38	
町内遺跡発掘調査事業		1,263	1,251	15-39	
5.生涯学習センター運営費		26,009	25,480		
生涯学習センター管理費		26,009	25,480	15-40	
7.カウベルホール運営費		61,010	60,517		
カウベルホール運営		61,010	60,517	15-41	
5.保健体育費		263,225	53,016		
1.保健体育総務費		11,223	11,219		
一般管理		11,224	11,219	15-42	
2.体育振興費		10,210	9,689		
スポーツ少年団育成強化		987	943	15-43	
運動習慣定着推進事業		171	131	15-44	
琴浦でアーチェリー推進事業		298	176	15-45	
郡・県・全国体育大会選手派遣		4,797	4,582	15-46	
社会体育指導及び推進		1,792	1,748	15-47	
町体育協会育成及び各部奨励		2,165	2,109	15-48	
3.体育施設費		241,791	32,108		
勤労者体育センター管理運営		624	589	15-49	
社会体育利用施設管理		733	700	15-50	
赤碕総合運動公園管理		6,053	5,689	15-51	
東伯総合公園管理事業		20,735	12,658	15-52	
東伯総合体育館耐震対策事業		205,550	4,700	15-53	

※端数処理の為、決算書の決算額と一致しない場合があります。

農業者トレーニングセンター運営	3,761	3,654	15-54
平岩記念会館管理運営	503	485	15-55
閉校管理事業	3,832	3,633	15-56
10.災害復旧費	4,115	1,342	
2.地震災害復旧費	4,115	1,342	
2.鳥取県中部地震対策費	4,115	1,342	
鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・社会教育課)	4,115	1,342	15-57
図書館	35,581	34,635	
9.教育費	35,581	34,635	
4.社会教育費	35,581	34,635	
6.図書館費	35,581	34,635	
図書館活動費	35,581	34,635	15-58

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価


一般会計

事業番号	1328	事業名	健康寿命プロジェクト			事業区分	■新規 □継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	2	総務費	項	7	地方創生事業費	目	1	地方創生推進交付金事業費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	1,940	1,934			967			967	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
健康寿命 (便宜上女性)	歳	目標	—	81.3	81.6				
		実績	—	81.3	82				
		達成率	—	100.0%	100.4%				
事業の対象 (だれに)	町民全般								
事業の目的 (なんのため)	健康寿命延伸取組の一つとして、地方創生推進交付金を活用し、平成29年度以降に予定する運動支援中核拠点(東伯総合公園)の機能強化・高齢者地域活動活性化・子どもと高齢者の交流によるふるさと愛涵養につながる取り組みに向けて、町民意識調査を行う。								
事業の実施状況	<p>下記の2調査を鳥取大学に委託実施しました。また、子どもの外遊び等活動実態、遊具ニーズ調査においては調査検討委員会を設置し、調査への住民ニーズの反映に務めました。</p> <p>○琴浦町内高齢者の活動実態、健康遊具ニーズ調査(対象:高齢者) 委託料 1,000,000円</p> <p>○子どもの外遊び等活動実態、遊具ニーズ調査(対象:子ども・保護者) 委託料 900,000円</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>1 子どもの外遊び実態・遊具ニーズ調査検討委員会を設置、町民の声を反映したアンケートを、鳥取大学に委託して行い、遊具ニーズの大きさなどを確認しました。また、高齢者の活動実態調査・健康遊具ニーズについて、鳥取大学に委託して調査を実施しました。</p> <p>[課題]</p> <p>1 アンケート結果及び住民意見を反映した、平成29年度以降の適正な事業推進が必要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	10	7	3	3	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)		29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	遊具に対する町民ニーズは極めて高く、強力に推進すべきです。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1320	事業名	ことうら健康寿命延伸活動(社会教育課)			事業区分	■新規 □継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	2 総務費	項	7 地方創生事業費	目	2	地方創生加速化交付金事業費		
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度									
平成28年度(明許)	14,710	12,214	12,214						
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
健康寿命 (便宜上女性)	歳	目標	—	81.3	81.6				
		実績	—	81.3	82				
		達成率	—	100.0%	100.4%				
事業の対象 (だれに)	町民全般								
事業の目的 (なんのために)	地方創生加速化交付金を活用し、東伯総合公園を運動支援中核拠点として整備することにより、町民の運動習慣定着を促し、介護予防と健康寿命延伸に寄与し、健康寿命日本一の町を目指す。								
事業の実施状況	<p>○総合体育館トレーニングルームのリニューアルを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン設置 7,084,800円 ・専任トレーナー配置、健康づくりトレーニング教室開催 4,291,730円 <p>○ウォーキング環境整備を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ウォーキング協会認定コースの開設と、町内9地区への健康づくりウォーキングコース開発 583,200円 								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>○トレーニングルーム利用者がリニューアル前の4倍で推移しており、利用者の裾野の広がりと、町民の運動習慣定着に一定の効果があることを実感しています。</p> <p>○町内各所にウォーキングコースが新たにでき、身近な場所での活用が期待されています。</p> <p>[課題]</p> <p>○総合体育館トレーニングルームの指導体制を整える必要があります。</p> <p>○各地区公民館との連携で自主的に活動できるウォーキング人口を増やす必要があります。</p>								
									
	トレッドミル・エアコン			プロのトレーナーによる指導					
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	10	7	3	5	3	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			31	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	町民の健康寿命延伸に資する新たな取り組みであり、継続が必要です。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1202	事業名	ことうら10秒の愛～やさしさの貯金～			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係				
予算区分	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	354	335	0	0	0	0	335	
平成28年度(明許)								
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30	
研修への講師派遣 回数	回	目標		-	-	10		
		実績		-	-			
		達成率						
事業の対象 (だれに)	保護者、地域の大人、小中学生 等							
事業の目的 (なんのため に)	子どもたちの心の成長のため、日常の10秒ほどのさやかな時間でも子どもと向き合うことを推進し、大人の子どもとに対する意識の向上を目指す。							
事業の 実施状況	<p>11月21日に10秒の愛提唱者である、仲島正教さんによる保護者・地域向けの講演会、翌22日に赤碓中学校と東伯中学校へ訪問し、中学生を対象とした講演会を行ないました。</p> <p>また、定期的に10秒の愛実行委員会を開催しました。</p>							
成果と 課題	<p>〔成果〕</p> <p>10秒の愛講演会を行ない、大きな反響がありました。</p> <p>また、保護者の研修のほか企業の職場研修へも実行委員の講師派遣依頼があるなど、町内外へ取り組みが広がりがつつあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>〔課題〕</p> <p>10秒の愛を日々意識してもらうよう、啓発活動の工夫が必要です。</p> <p>今後は、家庭だけでなく、地域や職場においても取り組みを拡大することが必要です。</p>							
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性 受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	5	3	3	3	有効性 目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点 計 (40点満点)			28	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由								
B	「10秒の愛」の認知度は上昇しており、町内外へ取り組みが広がりがつつある。地域振興及び社会教育振興の施策の1つとして継続が必要です。							

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	586	事業名	家庭教育支援推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	172	145		96			49	対象経費の2/3県補助	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
アンケート満足度 で「大変良かった」の割合	%	目標			90				
		実績		75	85				
		達成率			94.0%				
事業の対象 (だれに)	乳幼児期～思春期の子どもをもつ保護者								
事業の目的 (なんのために)	家庭教育に関する学習機会を提供することで、乳幼児期～思春期の子どもの発達段階における保護者の悩みの解決や自身の子育てについて振り返る機会を設定する。それにより家庭教育支援を行う。								
事業の実施状況	<p>○子育て支援講座 子育て支援センターとの共催により7回実施しました。(累計122名参加) 講座内容：ヨガ、リトミック、ベビーマッサージ、メディア対策等</p> <p>○家庭教育講座 各小中学校との連携により5回実施しました。(累計228名参加) 講座内容：性に関する子育ての悩み、平和と人権、子どもの心が安定する親子の関係づくり等</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>1 子育て支援講座 ヨガ、リトミック等子どもと一緒に体を動かす内容は満足度が高いです。</p> <p>2 家庭教育講座 各学校いずれも講演の満足度が高いです。</p> <p>[課題]</p> <p>1 子育て支援講座 座学形式の内容は参加者が少ないため、参加者が参加したくなるような内容の設定が必要と考えます。</p> <p>2 家庭教育講座 発達段階により内容が異なることは自然なことです。講座全体の統一感に欠けると思われるので、包括的なテーマ設定をすることにより、講座に統一感を持たせる必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	1	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)			22	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	核家族化が進行する現代では、家庭教育について学ぶ機会が減少しているため、その機会を提供する事業であり継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	309	事業名	次世代ことうらっ子育み推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	1,131	1,059	0	822	0	0	237	1. 対象事業費の10/10県補助	
平成28年度(明許)								2. 対象事業費の2/3県・国補助	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
子どもパーク1教室の 申込者数/定員	%	目標		—	105				
		実績		132	105				
		達成率			100.0%				
事業の対象 (だれに)	1. ことうら子どもパーク…町内の小学生 2. 放課後子供教室…赤碕、船上小学校区の小学生								
事業の目的 (なんのため)	1. ことうら子どもパーク…体験教室を通じた世代間交流の中で、子どもの心身・想像力・生きる力の育成、ふるさとを愛する心の涵養を図る。また、ものづくりの知恵やおもしろさ、奥深さに接することで、その技術や科学を学ぼうとする意欲や関心を育むことを目指し実施する。 2. 放課後子供教室…少子化や核家族化の進行、保護者の就労形態の多様化など、子どもを取り巻く環境の変化が問題となる中、放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。								
事業の実施状況	1. ことうら子どもパーク 574,610円 ことうら子どもパーク運営委員会へ委託し、ものづくり教室などの体験教室を開催しました。（草木染め、エコクラフト、サバイバル体験等、年間19回開催） 参加児童数：年間延べ420人（H27：315人） 2. 放課後子ども教室 484,204円 毎週水曜日の放課後・週末に地域住民の参画を得て学習・体験活動を実施しました。 参加児童数：年間延べ1,896人（H27：1,481人）								
成果と課題	〔成果〕 1. ことうら子どもパーク ものづくり等を通じた交流の中で、子どもの想像力、生きる力の育成、ふるさとを愛する心の涵養を図ることができました。 2. 放課後子ども教室 子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設けることができました。 〔課題〕 1. コーディネーターや講師などの人材の発掘を進め、教室の継続性を維持する必要があります。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	5	3	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)			28	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	町内での認知度が上昇しており、定員を超える教室が増えつつあります。地域振興及び社会教育振興の施策の1つとしての継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	292	事業名	社会教育振興			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	3,875	3,654						3,654	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	「学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり」の推進。(社会教育における地方公共団体の任務「学び・教えあいの奨励による住民自ら課題解決に向けて高め合う機運の醸成」と生涯学習の理念「豊かな人生」のイメージの具現化を目指す。)								
事業の実施状況	社会教育委員会を設置し、社会教育施策全般について教育委員会が諮問、答申を受けて取組の改善を検討しました。また、鳥取県等が主催する各種大会・研修に関係者の参加推進・派遣を行うとともに、鳥人間コンテストに挑戦中の琴浦町青年団をはじめとした社会教育関係団体に補助金を交付し、地域住民主役の地域学習活動推進を奨励・援助しました。								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>社会教育関係団体育成を通じて発掘された人材が幅広く地域活動を行われ、地域づくりに貢献しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性団体連絡協議会からの女性委員登用 11名 ○安田地区地域活性化協議会発足 4月 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動者全体の平均年齢が高くなっており、世代交代・新規活動者開拓が必要です。 ・鳥取県教育審議会生涯学習分科会答申を受け「まなびの成果の地域への還元」すなわち「学習と実践の循環の確立」推進をより図る必要があります。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	社会教育活動振興の基礎をなす取り組みであり、継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	300	事業名	寿大学			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	81	61					61		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
専門コース総登録 者数	人	目標			130	135	140		
		実績	130	122	128				
		達成率							
事業の対象 (だれに)	60歳以上の琴浦町民								
事業の目的 (なんのため に)	各種講座の実施により、高齢者が自らの意識をもって生きがいを見出すことを支援する。また、趣味活動を通じた仲間づくり・生きがいづくりを図る。								
事業の 実施状況	<p>○一般教養コース 教育委員会及び運営委員の主催により9回実施しました(累計468名参加) 実施内容:開講式、レクリエーション、映画鑑賞、町内外研修、講演会、閉講式</p> <p>○専門コース 各コースの自主運営により、月1~4回のペースで実施しました(総登録者128名) 開講コース:歴史(36)茶道(21)園芸(24)表具(12)音楽(8)IT(27) ※()内は人数</p>								
成果と 課題	<p>[成果]</p> <p>○一般教養コース 講演会、研修等で学習機会を提供しました。また、高齢者の交流の場所としても機能しました。</p> <p>○専門コース 各コースが主体性を持って活動できました。歴史コースを一般公開とし、学級生以外にも学習機会を提供できました。</p> <p>[課題]</p> <p>一般教養コースは、行政主体になる傾向があります。専門コースの活動を促す等自主活動促進の工夫が必要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	3	3	1	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			18	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
C	対象者への認知度も定着しており、リピーターも一定数人数確保しているため、継続が必要です。一方、自主学習推進のため、運営を学級生主体に移行させていくという課題もあります。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	303	事業名	青少年育成啓発事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	839	730	0	0	0	0	730		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
中高生サークルの 設置数	団体	目標		1	1				
		実績		0	0				
		達成率		0.0%	0.0%				
琴浦大山署管内の 非行検挙・補導者 数の減少	人	目標	—	—	27				
		実績	37	30	45				
		達成率			△60%				
事業の対象 (だれに)	地域住民、子ども会、保護者								
事業の目的 (なんのため に)	青少年の自主的な地域活動の促進と、地域における青少年の健全育成を実現するため、 青少年育成員の活動推進、子ども会活動支援、ジュニアリーダーの養成を行う。								
事業の 実施状況	<p>○少年育成員会活動 夜間街頭指導などの青少年健全育成活動を行いました。(夜間街頭指導30回、育成員会4回)</p> <p>○子ども会活動支援 ・子ども会リーダー研修会 平成29年3月11日(土)に開催しました。(参加者：子ども61人、育成者47人) ・モデル子ども会 「子どもの手による子ども会」の推進のため、子どもが主体的に行事を計画、活動したい という子ども会にアドバイザーを派遣するなどの助成を行ないました。</p>								
成果と 課題	<p>〔成果〕</p> <p>○少年育成員会活動 少年育成員活動推進による声かけ運動の展開で、地域で青少年を温かく見守る機運が醸成 されつつあります。近年の町内パトロールでは、青少年の深夜徘徊や喫煙等の問題事象は 見受けられていません。</p> <p>○子ども会活動支援 ・子ども会リーダー研修会 次年度の子ども会リーダーと育成者が集い、研修や情報交換を 行うことで子ども会活動の充実を図れました。 ・モデル子ども会 企画会議や活動で子どもたちの積極的・主体的な行動が見られ、 成功体験が自信につながったとの感想がありました。</p>  <p>〔課題〕 多様化する青少年を取り巻く問題に対して、電子メディア被害・犯罪対策等、街頭巡視活 動以外の視点での見守り活動展開が必要となっています。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0	
評価点	7	7	3	3	3	3	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点 計 (40点満点)			26	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	青少年の健全育成に資するため継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	27	事業名	男女共同参画推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
				国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	458	404				16		388	その他：TCCミニドラマ作成北栄・湯梨浜町負担金
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
固定的性別的役割 分担意識に反対の 割合	%	目標	—	—	55				
		実績	—	—	53.9				
		達成率	—	—	98.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般、女性団体連絡協議会、男女共同参画推進会議								
事業の目的 (なんのため に)	男女共同参画社会の形成を促進する。								
事業の 実施状況	<p>下記のとおり各種啓発活動を展開しました。</p> <p>①琴浦・北栄・湯梨浜3町企画、TCC作成の男女共同参画ミニドラマTCC放映（6月）</p> <p>②男女共同参画週間PR（6月）</p> <p>③啓発講演会（9月3日カウベルホール参加者45名、9月22日赤碕地区公民館参加者60名）</p> <p>④男女共同参画推進会議補助</p> <p>⑤男女共同参画フォーラム開催支援</p> <p>⑥女性団体連絡協議会への男女共同参画啓発委託実施（10月）</p>								
成果と 課題	<p>〔成果〕</p> <p>講演会等啓発機会を開催するとともに、TCCを活用しての3町連携ミニドラマ放映など他地域が行っていない取り組みを行っています。</p> <p>講演会等は一定の参加者を集めており、参加者アンケートの結果も比較的好評であり、また、本年度のTCCミニドラマにおいては「あれ、面白いからみてみない」という町民の声もあり、一定の手ごたえを感じています。</p> <p>〔課題〕</p> <p>平成28年度に実施される男女共同参画意識調査の結果を受けて、再度謙虚な視点での啓発活動見直しを行う必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	3	5	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点 計 (40点満点)		34		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	持続可能な地域づくりの鍵の一つであり、今後も継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	311	事業名	文化活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	1,058	1,023						1,023	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
出展者数	団体 /人	目標							
		実績 達成率	37団体/23人	40団体/16人	36団体/10人				
来場者数	人		2,557	2,448	3,327				
事業の対象 (だれに)	町民								
事業の目的 (なんのため)	作品を発表する機会の提供により、文化活動の活性化を図ると共に、高齢化が進む文化活動者の後継者の獲得を目指す。								
事業の 実施状況	11月4日～6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体（陶芸教室、折り紙教室、水墨画教室、竹細工教室）が参加しました。								
成果と 課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託することで人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしました。 文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新たな文化活動体験者を獲得した団体もありました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	1	3	5	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	今後も継続的に文化活動者の育成支援が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価


一般会計

事業番号	587	事業名	無盡庵管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	199	195						195	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町内住民、活用希望者								
事業の目的 (なんのために)	地域住民の交流の場を提供する。								
事業の 実施状況	施設の管理人が不在のため、定期的に現状確認を行いました。 利用者数 119人								
成果と 課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が利用しやすいように維持管理を行いました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理人が不在のため、職員が定期的に様子を確認する必要があります。 ・カギの貸出場所の検討（現在は分庁舎及びまなびタウンのみ）。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	3	3	1	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)		14		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	活用方法が未確定のため、維持管理を継続して行う必要があります。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	684	事業名	安田地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	458	447						447	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	安田地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき安田地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【安田地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数30回、参加者数のべ1,557人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船上小学校区の各地区公民館連携で企画運営を行い、体験活動の内容が深まりました。 ・子育てサポート活動が地域の人と子育て中の保護者との交流の場として定着しつつあります。保育園統合や支援センターの削減などで保護者同士や地域の人と触れ合う場が減る中、次世代育成のためにもより重要な活動となっています。 ・各教室で、ALTを招き異文化活動・伝承行事・親子でものづくりなどを企画し実行したことで、地区内外から参加があり、親睦の場ともなっています。 ・本年度より新たに女性教室視察研修を行い、障がい者就業施設や環境資源について学び教養が深まりました。 <div style="text-align: center;">  <p>子育てサポート活動 Step-by-Stepの様子</p> </div> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主運営グループづくりの推進をより進めたいと考えます。 ・地域の人や利用者からのニーズの把握の深化が必要です。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	675	事業名	安田地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)	(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	468	462				59		403	その他：公民館使用料
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	安田地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき安田地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【安田地区公民館年間利用状況】 利用団体529団体、利用者数のべ5,014人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本、本棚、ベンチを譲り受け、館内で誰もが気軽に利用できるよう整備を行いました。 ・ 館外の清掃、花植、剪定。館内には生花を飾り環境美化を推進しました。 ・ 利用者へポスターを掲示し、施設維持経費の削減を促しました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者へ使用後清掃の徹底を図る必要があります。 <div style="text-align: right;">  <p>手前と奥、窓際に木のベンチ 階段下キッズスペース(本棚6)</p> </div>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点 計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	686	事業名	以西地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	461	428						428	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	以西地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき以西地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【以西地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数50回、参加者数のべ2,600人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館の利用促進を呼びかけ、趣味活動が増えサークル活動として定着しています。 公民館利用が少なめの男性の方を中心に、男の料理が発足し賑やかな活動ができました。 町民運動会では、以西子ども会との連携で小中学生の参加できる種目を増やし、地域の人に元気を与えたり中高生のボランティアの場を設けることで地域での活躍の場づくりにつながりました。 公民館の集いでは、キッズコーナーを設け地域の方を先生に迎えて「物づくり教室」を開催し、子どもの参加を促すことができました。 								
	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの保護者の利用頻度が減ってきたので、更に以西子ども会と連携した活動を行いたいと思います。 以西の伝統を掘り起こしながら、次世代に繋げるきっかけづくりを行う必要があります。 船上キッズの内容を魅力あるものにしながら、保護者との連携をとり参加者を増やし、青少年の体験活動の深化を図る必要があります。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								



キッズコーナーの様子

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	677	事業名	以西地区公民館管理事業			業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)	(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	466	437				66		371	その他：公民館使用料
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	以西地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき以西地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【以西地区公民館年間利用状況】 利用団体139団体、利用者数のべ1,784人</p>								
成果と課題	<p>[成果] 地域住民の社会教育活動の拠点として、幅広い年齢層にも利用していただく地域の交流の場として利用しやすい環境づくりを進めることができました。 その結果、公民館利用があまりない男性の利用も少しずつ増えてきて性別問わずの利用が増えていきます。</p> <p>[課題] 小学校統合後、青少年の利用ならびにその保護者の利用頻度が少なくなっています。 また、保育園もなくなることで、更に利用者の減少が予測されるので、様々な年代を捉えた生涯学習機会の提供を図る必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	320	事業名	一般管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係				
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	34,315	33,968						33,968	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	各地区内部落と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき町内9地区に公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【公民館利用状況】 利用者数のべ46,102人</p>								
成果と課題	<p>〔成果〕 各地区の特性を活かして地域住民の意見を取り入れながら、社会教育活動及び生涯学習環境醸成に取り組んで来ており、学習環境整備や、それに伴う地域学習活動の充実が図られ、まちづくりや協働・自立の人づくりに資することができています。</p> <p>〔課題〕 ・少子高齢化・核家族化による人間関係の希薄化・地域力の低下、人口減少などに対応するため、より工夫を行い、住民の教養・生活文化振興に資する必要があります。 ・地方創生取り組みに伴う「地域の拠点」づくりの推進が必要です。 ・生涯学習における「学習と実践の循環」をより確立するための取組推進が必要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	688	事業名	浦安地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係				
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2	公民館費	
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	646	625					625	
平成28年度(明許)								
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30	
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3	
		実績	—	2	8			
		達成率			160.0%			
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)							
事業の目的 (なんのため)	浦安地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。							
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき浦安地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【浦安地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数56回、参加者数のべ2,105人</p>							
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>防災を学ぶ講演会では、想定外の災害に備えた日頃の危機管理など、子どもから高齢者まで、広く問題提起することができました。</p> <p>健康講座では、笑いがもたらす心と体の健康について、日本の伝統文化である落語を通して、楽しみながら学んでいただくことができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>←文化・教養講座 「防災を学ぶ講演会」(H28.7.3)</p> <p>健康講座 桂小文吾さんの笑いの話と 落語を聞く会(H29.1.22)→</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>[課題]</p> <p>少子高齢化が深刻な状況において、相互扶助の観点から、より強固な人と人との絆が重要です。幅広い年齢層の利用を促進し、公民館があらゆる学びと交流の拠点となるような取組の展開が必要です。</p>							
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
						先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点計 (40点満点)		24		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由								
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。							

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	679	事業名	浦安地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
				国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	554	553				251		302	その他：公民館使用料
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	浦安地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき浦安地区公民館を設置し、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【浦安地区公民館年間利用状況】 利用団体586団体、利用者数のべ6,361人</p>								
成果と課題	<p>[成果] 地区住民が安心して学習できる環境整備や、施設維持経費の削減に努めました。</p>								
	<p>[課題] 施設の老朽化が著しく、利用される地区住民にとって安心かつ安全な環境整備が必要で、創意工夫を凝らし、施設維持経費の削減を図りつつ行う必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	689	事業名	下郷地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	544	541						541	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	下郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき下郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【下郷地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数59回、参加者数のべ2,560人</p>								
成果と課題	<p>[成果] 地域住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。特に各種公民館事業を通じて地区住民の親睦・交流を図り公民館教室活動からサークル活動への移行に力を入れました。各種公民館事業を通じて地区住民の親睦、交流が図れています。また、教室での学習成果を公民館まつりで発表することで、サークル活動等の活性化が進んでいます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>H28.11.1パッチワーク教室からサークル活動へ繋がり、今では週に1回活発に活動されているグループの様子です。</p> </div> </div> <p>[課題] 各種行事の参加者数のさらなる増加を図りたいと思います。公民館教室からサークル活動への移行をより促進することが重要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価


一般会計

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	652	625						625	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	下郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき下郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【下郷地区公民館年間利用状況】 利用団体299団体、利用者数のべ3,511人</p>								
成果と課題	[成果] 地区住民が安心して学習できる環境整備や、施設維持経費の削減に努めました。								
	[課題] 施設の老朽化が著しく、利用される地区住民にとって安心かつ安全な環境整備が必要で、創意工夫を凝らし、施設維持経費の削減を図りつつ行う必要があります。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	691	事業名	古布庄地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	490	480						480	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	古布庄地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【古布庄地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数52回、参加者数のべ2,349人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館まつり、二人三脚・三人四脚駅伝大会など地区をあげての事業に集落ごとに協力していただき、地域の力を発揮する場となりました。 鳥大との事業が少しずつ定着し、防災と健康についての意識を高めることができました。 下郷・上郷・古布庄3地区で連携し青少年の事業を取り組みの内容を充実できました。  <p>← 鳥大連携事業「たのしいすぎ会」 避難所運営ゲーム「HAG」を行い、地区の防災について意見交換を行いました。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館活動に参加する年代等に偏りがあるため、継続的にかかわってもらえるような魅力ある取り組みが必要です。 古布庄地域振興協議会など、他団体との協力体制の構築をより進めていきます。 高齢化に伴いリーダーとなるような人材の確保・育成がより難しくなっています。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0	
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0	
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0	
評価点計 (40点満点)		24		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	516	506						506	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	古布庄地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【古布庄地区公民館年間利用状況】 利用団体165団体、利用者数のべ2,109人</p>								
成果と課題	<p>[成果] 地区公民館の管理運営を行い、地域住民が安心して気持ちよく利用できるよう、施設周辺の環境美化、施設維持経費の削減を進めました。</p> <p>[課題] ・公民館利用者への施設利用手順の徹底を行います。 ・さらなる施設維持経費の削減の呼びかけが必要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	690	事業名	上郷地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	331	320						320	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	上郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき上郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【上郷地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数45回、参加者数のべ1,937人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館活動を通して、世代間交流・住民同士の親睦・仲間づくりが進みました。 他地区公民館と共催し、活動内容を検討しながら事業を充実させました。 学校・地域と連携し、協力しあいながら子どもの体験活動を推進できました。 スポーツ活動では、年齢・性別問わず様々な方の参加があり、健康増進と交流を深めることができました。 <div style="text-align: center;">  <p>←H28.12.5開催 せいごうキッズ(もちつき体験) 下郷・上郷・古布庄地区公民館・聖郷小学校共催</p> </div> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主運営化(サークル化)の啓発をより強化することが重要です。 高齢者の参加率拡充を図り、地域特性に合わせた事業推進を進めたいと考えます。 住民に対する公民館事業内容の周知法のさらなる工夫が必要です。(放送・チラシ等) 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			24		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	681	事業名	上郷地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		(千円)	(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	421	420						420	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのために)	上郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき上郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【上郷地区公民館年間利用状況】 利用団体412団体、利用者数のべ2,980人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館雨漏り修繕工事後、安心安全に利用が出来て健康増進と活性化に繋がりました。 ・ 玄関先の花植え、グラウンドの整備に努め、景観を保つことが出来ました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の維持経費削減が必要です。（省エネ等） ・ 公民館利用者のマナー徹底を図ります。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	685	事業名	成美地区公民館活動事業費			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	479	473						473	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	成美地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき成美地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【成美地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数87回、参加者数のべ2,907人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館祭かくし芸大会では、地域活動グループから多数の参加を得ることができました。 学校地域戦略会議の定期的な開催で小学校・公民館・文化センター・地域が密に連絡を取り合い連携が進んでいます。 地域を見直す取り組みとして、川合清丸没後100年講演会を開催し、地域の偉人について新たな世代への伝承を進めることができました。 水曜道くさクラブでは、参加者が増えたためボランティアも増やして対応し、子どもたちが放課後を有意義に過ごすことができています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>川合清丸没後100年 記念講演会(H28.6.26)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水曜道くさクラブ (毎週水曜日放課後)</p> </div> </div> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会、公民館祭などへの行事への参加が減少傾向にあります。 サークルの推進が必要です。 地域課題の把握をより進めて行きたいと考えています。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	676	事業名	成美地区公民館管理事業費			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	822	818				142		676	その他：公民館使用料
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	成美地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき成美地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【成美地区公民館年間利用状況】 利用団体455団体、利用者数のべ7,669人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の社会教育の拠点として公民館の管理を行い、住民が気軽に利用してもらえるように、施設内や施設周辺の環境美化を推進しました。 ・館内にエアコンの設定温度を表示し、公民館利用者へ協力を求め節電ができました。 ・各種イベントや講座などのチラシ等をロビーに見やすく掲示、情報提供が充実しました。 ・不要になった本を寄付してもらい、ロビーの図書コーナーが充実しました。 <p>[課題]</p> <p>浄化槽水位低下等、施設の老朽化・地盤沈下への対応が必要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	683	事業名	赤碕地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	680	615						615	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	赤碕地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき赤碕地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【赤碕地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数86回、参加者数のべ2,797人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の生涯学習の推進・支援はもとより、仲間づくり・運動会・公民館祭のような地域づくり活動、とりわけ住民同志がつながる学習活動が進展しています。 子育て支援・家庭教育・環境問題学習も強化することができました。 子ども教室ボランティア・乳幼児学級支援ひよこの会等、多くの方が公民館でボランティアとして活躍しており、社会参画意識の醸成が進んでいます。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の繋がりが希薄になりつつある現状を踏まえ、社会教育を基本における生涯学習を身近な地域で推進することで、人と人・地域の繋がりを強くしていくことが必要です。 公民館主催事業から、サークル活動への移行を推進し、自主的な学習活動推進をより図りたいと考えます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>わくわくキッチンの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水曜寄り道クラブの様子</p> </div> </div>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続すべき事業です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

一般会計

1 事業の成果及び評価

事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	480	460				1		459	その他：公民館使用料
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	赤碕地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき赤碕地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【赤碕地区公民館年間利用状況】 利用団体578団体、利用者数のべ6,971人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業・子育て支援事業など、各年齢を捉えた生涯学習の場を提供し、0歳児～高齢者まで幅広い年齢の方が公民館を利用されました。 ・保育園・小・中学校との連携が、地域活動を通し、深まりつつあります。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の繋がりが希薄になりつつある現状を踏まえ、社会教育を基本における生涯学習を身近な地域で推進することで、人と人・地域の繋がりの強くする取組を進める必要があります。 ・赤碕の伝統を継続していく活動への取組をより進める必要があります。 ・誰もが使いやすい公民館となることを目指して、管理の深化を進めます。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点 計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	687	事業名	八橋地区公民館活動事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額		事業費財源内訳 (千円)					備考
		(千円)		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	701	686						686	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
自主運営サークル数	団体	目標	—	3	5	3	3		
		実績	—	2	8				
		達成率			160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般(自治会、地域団体・個人等)								
事業の目的 (なんのため)	八橋地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき八橋地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【八橋地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数88回、参加者数のべ4,728人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツや地域における實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進等を進めました。また、公民館教室等をきっかけとした地域住民による自発的学習拠点として公民館を提供し、グループ・サークルの自主的運営の育成と援助を行いました。その結果、自主学習推進と学習成果発表の機運が醸成されてきています。 <div style="text-align: right;">  <p>健康寿命の延ばし方講座 H28 4/13(火) 5/17(火)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人材を活かした各種公民館事業を通じて住民の親睦・交流・異年齢の仲間作りや情報交換が進みました。また、公民館事業で深めた趣味や特技を、公民館まつりや町の文化祭などの機会に学習の成果として発表する等、自主学習推進と学習成果発表の機運が醸成されてきています。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主運営学習グループづくりをより強化するのにあたって、講師確保が課題です。 より広く学習人材情報収集に努め、生涯学習の大切さを発信しながら、地域住民が生涯現役を目指し色々な事が学べる機会や場所を広く提供することが必要です。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10.7.3.0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10.7.3.0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5.3.1.0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5.3.1.0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5.3.1.0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5.3.1.0
評価点計 (40点満点)		24		判定基準		A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	678	事業名	八橋地区公民館管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
				国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	586	586					9	577	その他：公民館使用料
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般（自治会、地域団体・個人等）								
事業の目的 (なんのため)	八橋地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等に資する。								
事業の実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき八橋地区公民館を設置、館長・主事を配置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。</p> <p>【八橋地区公民館年間利用状況】 利用団体781団体、利用者数のべ10,511人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育活動の拠点、また地域住民の交流の場として、幅広い年齢層にも利用していただき、使いやすい施設管理に努め、子どもたちや地域住民が安心して学習できる環境整備を行いました。 ・公民館使用後の日誌の活用徹底により、電気の切り忘れが無く、施設維持経費(水道光熱費)の削減が図れました。 ・グリーンカーテンなどを利用して維持経費の削減に努めました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の目的・目標を掲げて地区住民への周知を図ることです。 ・新規の公民館利用者へ最終確認(掃除、電気、冷暖房、日誌の記入、戸締り)等の徹底が必要です。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	7	3	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)			24	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1261	事業名	赤崎台場跡保存・活用推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	249	229						229	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
追加指定記念講演 会の開催	回	目標			1				
		実績			1				
		達成率			100.0%				
説明看板の設置	基	目標			1				
		実績			1				
		達成率			100.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民								
事業の目的 (なんのため)	平成28年3月に史跡鳥取藩台場跡に追加指定されたことを記念して講演会を実施する。 また、赤崎台場の管理に必要な整備の一つとして説明看板設置を行い、併せて史跡の適切な保存活用を進める。								
事業の 実施状況	<p>【講演会】 琴浦・北栄・湯梨浜3町連携 赤崎台場跡国史跡鳥取藩台場跡追加指定講演会 開催日 8月27日 会場 琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく4階研修室 主催 琴浦町教育委員会 共催 北栄町教育委員会、湯梨浜町教育委員会 内容 講演①「鳥取藩台場探訪～遺跡と絵図の比較から」 講師 中原斉氏 講演②「幕末の御台場普請事情-西洋式築城法輸入の背景とその影響-」 講師 富川武史氏</p> <p>【展示会】(委託費 87,480円) 県立博物館より絵図等を借用した他、各町が所有する写真や模型を展示し、各台場跡の紹介を行いました。</p> <p>【説明看板設置】 3月に赤崎台場跡の管理に必要な整備として指定地内に説明看板を設置しました。</p>								
成果と 課題	<p>[成果] 【講演会・展示会】 ・当日、講演会及び展示会には62名の方が参加されました。参加者のなかには鳥取市、倉吉市など3町以外からの参加者も多く、台場跡の注目の高さを窺えました。 ・赤崎台場だけでなく、三町連携事業で実施することも、町内外の多くの方々に関心をもっていただくことに有効であることが確認できました。</p> <p>【説明看板設置】 ・赤崎台場跡の価値や指定範囲等を記した説明看板の設置により、史跡の管理に必要な整備を行うことができた。</p> <p>[課題] ・今後、遺跡の整備・活用をスムーズに行なうため保存活用計画を策定し、史跡の適切な保存及び活用の基本方針を決める必要がありますが、策定にあたっては、鳥取藩台場跡としての史跡指定であるため、浦富、橋津、由良、淀江、境の各台場を所管する市町村及び県と連携し調整をはかる必要があります。 ・赤崎台場跡の町民への周知ため今後も継続して普及活動を行っていく必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	10	3	3	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)		29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	赤崎台場跡の適切な保存方法や遺跡の活用方法を検討していくため事業の継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1203	事業名	大高野遺跡保存・活用推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	5,372	5,267	1,000	200			4,067	対象事業費の1/2 国補助、1/10件補助	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
保存活用計画策定		目標							
		実績							
		達成率		80.0%	80.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民								
事業の目的 (なんのために)	特別史跡斎尾廃寺跡・史跡大高野官衙遺跡を適切に保存し、併せて両遺跡や周辺文化財の活用を行うことで地域の活性化を図る。								
事業の実施状況	<p>【航空測量】(委託費2,494,800円) 業務期間：平成28年5月18日～平成28年6月17日 成果品納入日：平成28年6月17日</p> <p>【検討委員会】(委託費1,813,320円) 第1回 平成28年7月27日 検討内容：史跡の概要と本質的価値 第2回 平成28年10月19日 検討内容：史跡の本質的価値と構成要素、史跡の現状と課題 第3回 平成28年3月13日 検討内容：史跡の現状と課題及び保存活用の大綱・基本方針</p> <p>【住民アンケート】 期間：1月～2月 対象：槻下地区周辺に住所を有する町民100人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度の保存活用計画策定に向け、史跡やその周辺地域の文化財の価値付け等の作業を行いました。 ・航空測量図により今後の保存を行う範囲などより具体的な検討を行うことができました。 ・住民アンケートの結果、厳しい意見も含め、保存活用計画に反映しました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別史跡斎尾廃寺跡及び史跡大高野官衙遺跡の遺構や周辺景観を保護する為、法規制以外にも地域住民への協力を求めていく必要があります。 ・活用においては周辺地域の活性化等を踏まえ、保存と併せてどの様に両立させていくか地域住民の意見を取り入れながら検討していく必要があります。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	10	3	3	3	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)	29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					
担当課による判定と理由									
B	特別史跡斎尾廃寺跡・史跡大高野官衙遺跡を適切に保存し、且つ、周辺地域の為にどの様に活用を行うかを検討していくうえで継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1203	事業名	大高野遺跡保存・活用推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度									
平成28年度(明許)	64,651	64,639	49,296	4,108			11,235	対象事業費の4/5 国補助、1/15件補 助	
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
大高野遺跡公有地 化	㎡	目標			27670.44				
		実績			27670.44				
		達成率			100.0%				
事業の対象 (だれに)	町民ほか								
事業の目的 (なんのため に)	史跡の保存活用を適切に行うため								
事業の 実施状況	平成27年6月 農振除外申請(8月農振除外不可) 平成27年10月 土地収用事業認定申請 平成27年12月 土地収用事業認定 平成28年3月~4月 土地売買契約、登記完了 公有地化面積(指定地面積) 27670.44㎡ 平成28年5月 文化庁補助事業完了								
成果と 課題	[成果] ・史跡大高野官衙遺跡指定地範囲すべての土地購入(公有地化)しました。 [課題] ・公有地化後の史跡の保存活用や管理に係る整備等を継続して実施する必要があります。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0	
評価点	7	10	1	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点 計 (40点満点)			25	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
E	史跡大高野官衙遺跡の指定地範囲の公有地化が終了したことからH28年度で事業を終了しま す。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1262	事業名	町誌編さん事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	51	23						23	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
編纂内容の検討 (検討会の開催)	回	目標		年2回	年3回				
		実績		2回	2回				
		達成率		100.0%	66.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民								
事業の目的 (なんのために)	地域文化の継承が困難となりつつある状況の中、本町がどのようにして生まれ、歩んできたのかを振り返り、現代または後世に生きる町民自身の郷土に対する関心と愛着をより深めるとともに、地域文化の継承により将来の郷土づくりの基礎となる。								
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会を2回（H28年10月6日、H29年3月15日）開催しました。 10月6日 新町誌の目次と掲載項目等について検討しました。 3月15日 目次と次年度のうごきについて検討しました。 								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会にて新町誌の内容と執筆者選定について協議を行いました。 ・ 基本計画(案)を作成しました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会に新規委員を加え編纂委員会を立ち上げ、これまでの検討内容を再協議した上で編纂内容・方針の協議、執筆者の選定を行います。 ・ 発刊年の再検討をします。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価点	7	3	1	1	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0	
評価点計 (40点満点)			16	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
C	編纂または執筆者選定作業に遅れがあるため、検討委員および事務局の体制を整え、速やかに執筆作業に入る必要があります。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	6,529	6,417	56					6,361	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
文化財保存、活用事業支援	件	目標			5				
		実績			5				
		達成率			100.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民								
事業の目的 (なんのために)	所有者が実施する町内文化財の保存や活用事業を支援し、町内文化財の適切な保存するとともに、利活用の促進や見学者の増加を図る。 また、管理に必要な整備を行い文化財の保護を図る。								
事業の実施状況	・以下のとおり各文化財に対し補助金を交付しました。								
	補助金の名称			金額(円)	交付対象				
文化財公開・活用支援事業費補助金			500,000円	河本家保存会					
無形文化財補助金			20,000円	以西おどり保存会					
無形文化財補助金			20,000円	逢東踊り保存会					
無形文化財補助金			20,000円	三本杉盆踊り保存会					
光徳寺山門屋根葺き替え修繕補助金			3,561,000円	光徳寺					
・町指定文化財への案内看板を2点修繕しました。 ・文化財保護委員会を以下の日程で開催しました 第1回 開催日：平成28年6月22日 第2回 開催日：平成28年10月28日									
成果と課題	[成果]								
	・国重要文化財である河本家住宅では春・秋の一般公開では合わせて1,600人の方が来場し、多くの皆さんに文化財に親しんでいただくと共に、歴史・文化に対する認識を深めていただきました。 ・光徳寺山門葺き替え事業では現地説明会を実施し、計27名の方が来場し、修理過程や文化財的価値等の認識を深めていただきました。 ・町指定文化財への案内看板が劣化していたため修繕を行い、見学者がより来場しやすくなりました。 ・文化財保護委員会にて平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震における被害対応について検討し、町内文化財の適切な保存管理を行いました。								
[課題]									
・有形文化財は、経年劣化等により修繕を必要とするものが多くありますが、文化財の適切な保存のため所有者の事業費確保等の課題があります。 ・無形文化財は、過疎化に伴い、保存会の高齢化し進んでおり後継者育成支援等も今後の課題です									
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	10	3	3	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	継続した町内文化財の保存・保護及び活用の推進が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	323	事業名	民俗資料館管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	839	727						727	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民								
事業の目的 (なんのために)	昔の庶民の生活や生産活動を民具や農具などの民俗資料から学び、文化財の大切さを知り、それらを後世に伝える。								
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 資料館内の展示資料の維持管理を行いました。 見学に来られた方に解説・案内をしました。 小学3年生社会の学習に合わせた体験学習や、総合学習で出前授業を行いました。 来館者：618人								
成果と課題	[成果] ・小学校の学習に資料館見学や資料貸出、体験学習等の機会を提供し、考古資料および民俗資料を通して郷土の歴史を伝え、文化財等への理解を深めることができました。								
	[課題] ・資料館内の資料の状態把握を行います。 ・県立博物館の「アドバイザー派遣事業」を活用し、有識者に指導を仰ぎながら管理・保存方法を検討します。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	7	1	1	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)			20	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
C	資料館の活動不足のため来場者は減少または小数のため、資料館の内容についても検討を必要があります。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1303	事業名	国道9号線別所地区交差点改良工事に伴う発掘調査事業				事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	埋蔵文化財発掘調査
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	3,771	3,768				3,753		15	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
別所22号墳発掘調査	件	目標	—	—	1				
		実績	—	—	1				
		達成率	—	—	100.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民、開発行為者								
事業の目的 (なんのために)	開発事業地が埋蔵文化財包蔵地であるため、開発事業前に発掘調査を実施し、遺跡の保存（記録保存）を図ることを目的とする。								
事業の実施状況	調査期間：平成28年5月9日～6月6日 整理作業期間：平成28年6月7日～平成28年12月9日 報告書発刊日：平成28年12月22日								
成果と課題	[成果] ・国道9号線別所地区改良工事に伴う発掘調査を実施した結果、古墳1基(別所22号)と土坑を確認し、遺跡の記録保存を適切に行いました。また、鉄製直刀、須恵器、土師器、陶磁器等、コンテナ2箱分の遺物が出土しました。 [課題] ・鉄製の直刀が出土しており、出土遺物の適切な管理・保存が必要となります。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	10	3	3	3	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			29	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
E	遺跡の記録保存に係る事業が終了したため。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1329	事業名	町道別所東線道路改良工事に伴う発掘調査事業				事業区分	■新規 □継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係				
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	埋蔵文化財発掘調査
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	11,372	11,267						11,267	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
別所第4遺跡発掘調査	件	目標	—	—	1				
		実績	—	—	1				
		達成率	—	—	100.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民、開発行為者								
事業の目的 (なんのため)	開発事業地が埋蔵文化財包蔵地であるため、開発事業前に発掘調査を実施し、遺跡の保存(記録保存)を図ることを目的とする。								
事業の実施状況	調査期間：平成28年7月5日～11月3日 整理作業期間：平成28年11月4日～平成29年3月30日								
成果と課題	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 町道別所東線道路改良工事に伴う発掘調査を実施し、弥生時代中期と考えられる竪穴建物等を確認し、遺跡の記録保存を適切に行いました。また、遺跡からは弥生土器・縄文土器・磨製石斧等の遺物がコンテナ3箱分出土しました。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度では発掘調査を実施したのみで、発掘調査報告書の発刊していないため29年度に調査報告書を発刊する必要があります。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
評価点	7	10	3	3	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	遺跡の記録保存を適切に完了させるため、報告書刊行まで事業の継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	埋蔵文化財発掘調査
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	1,263	1,251	578	289			384	対象事業費の1/2 国補助、1/4県補 助	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
別所第4遺跡	件	目標	—	—	1				
		実績	—	—	1				
		達成率	—	—	100.0%				
事業の対象 (だれに)	町民、町外住民、開発行為者								
事業の目的 (なんのため に)	開発行為に伴い試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認したうえで遺跡の保存を適切に行うため調整を図る。								
事業の 実施状況	<p>・開発事業予定地（琴浦町大字別所）の試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認しました。</p> <p>調査期間 平成28年5月10日～6月15日 整理作業 平成28年6月16日～3月10日 調査報告書発刊日 平成29年3月24日</p>								
成果と 課題	<p>【成果】</p> <p>・別所第4遺跡 調査では時期不明の溝状遺構4本と包含層を確認しました。また、遺構・遺物を確認したことにより、年度内での記録保存のため全面発掘調査を実施することとなりました。</p> <p>【課題】</p> <p>遺跡の範囲外であっても、隣接地や過去の調査結果、周辺の地形等から試掘調査が必要となってきました。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	10	3	5	3	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			31	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	文化財保護事業の一環として継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続															
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係																		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	5	生涯学習センター管理費															
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考															
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源														
平成28年度	26,009	25,480			4,345		21,135	施設利用費等														
平成28年度(明許)																						
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30															
館内利用		目標	3,096,000円	3,096,000円	3,120,000円	3,480,000円																
		実績	42,226人／	41,136人／	51,186人／																	
		達成額	3,671,193円	3,374,740円	3,635,548円																	
駅南駐車場		目標	720,000	840,000	674,000																	
		実績	917,460	820,260	709,560																	
		達成率	127%	98%	105%																	
事業の対象 (だれに)	町内外利用者																					
事業の目的 (なんのために)	町民の生涯にわたる学習活動を支援し、町民文化の充実振興に資するため、琴浦町生涯学習センター管理運営に努める。																					
事業の実施状況	○生涯学習センター運営管理を行いました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>施設管理費合計</td> <td>25,479,714円</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>2,421,437円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>7,469,320円</td> </tr> <tr> <td>保守等委託料</td> <td>10,803,822円</td> </tr> <tr> <td>機器使用料</td> <td>1,403,083円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,362,052円</td> </tr> </table>								施設管理費合計	25,479,714円	内訳		燃料費	2,421,437円	光熱水費	7,469,320円	保守等委託料	10,803,822円	機器使用料	1,403,083円	その他	3,362,052円
施設管理費合計	25,479,714円																					
内訳																						
燃料費	2,421,437円																					
光熱水費	7,469,320円																					
保守等委託料	10,803,822円																					
機器使用料	1,403,083円																					
その他	3,362,052円																					
成果と課題	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 談話コーナー設置により学生等年齢層の幅が広がりました。 2. 維持管理に係る経費の抑制を図りました。 3. 施設（会議室・作品展示等）利用が高まりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2F 調理室の活用について 2. 施設経年劣化等による雨漏り吹込み空調機等の不具合が懸念されます。 3. 外壁修繕工事が必要となります。 4. 館内照明の安定器の生産が中止となり、今後の対応検討が必要となります。 5. 研修室等の椅子の汚れ・傷み等が確認できます。 6. 利用料見直し、運営管理委託（指定管理）の検討が必要と考えます。 																					
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0													
評価点	10	3	5	3	5	3	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0													
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0													
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0													
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0													
						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0														
評価点 計 (40点満点)		29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止																	
担当課による判定と理由																						
C	町民自ら野学びの場、活動成果の発表等利用者の身近な施設として継続的に運営管理を行います。																					

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	817	事業名	カウベルホール運営			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係				
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	7	カウベルホール運営費	
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成28年度	61,010	60,517					60,517	
平成28年度(明許)								
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30	
施設改修推進	%	目標	—	10	15			
		実績	—	10	10			
		達成率	—	100.0%	66.6%			
事業の対象 (だれに)	町民全般							
事業の目的 (なんのため)	芸術文化の振興を図り、生涯学習及び地域文化活動の推進を総合的に行い、幅広い世代の人々が、よりつながり、より生き生きと、地域での生活を楽しむ環境づくりを推進する。							
事業の実施状況	<p>NPO法人花本美雄文化振興会への指定管理を継続し、館の適正な管理と、各種公演等の実施による文化芸術振興を図りました。(年間のベリ利用者数17,100人)</p> <p>また、各種改修工事を行い、安心・安全な文化振興拠点の確立を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台照明設備改修工事 (第2期) 32,400,000円 ・ スタインウェイグランドピアノ修繕 (第2期) 2,754,000円 ・ 屋根修繕 104,760円 							
成果と課題	<p>〔成果〕</p> <p>平成26年度～28年度に指定管理者制度に移行、高齢者向けワークショップなど新たな取組が生まれる等の成果が出ています。また、施設改修を進めましたが、トイレ改修については、下水道公共枡に合わせたの施工をするため延期する変更を行いました。</p> <p>しかし、指定管理者については第2次募集の結果、候補者無しとの結果となり、平成29年度からは直営となりました。また、鳥取県中部地震等を契機に、施設改修計画の見直しが必要となり、現状調査業務を行いました。</p> <p>〔課題〕</p> <p>施設長寿命化対応による安全・安心な芸術文化拠点の実現を図る必要がありますが、同時に改修経費などの課題もあり、施設のあり方も含めた検討が必要です。</p>							
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							公平性 受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	3	5	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点 計 (40点満点)			22	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由								
B	文化芸術振興は生活に潤いを与え、人々に新たなつながりと喜びをもたらす非常に重要なものであり、継続が必要です。							

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	333	事業名	一般管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目 1 保健体育総務費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源
平成28年度	11,224	11,219					11,219
平成28年度(明許)							
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30
設定なし		目標					
		実績					
		達成率					
事業の対象 (だれに)	町民全般						
事業の目的 (なんのため に)	町内社会体育施設 1 2 施設の通常管理を行う						
事業の 実施状況	<p>○各体育施設(1 2 施設)の庶務的経費の執行を行いました。 (消耗品・燃料費・各施設高熱水費・通信運搬費・下水道使用料・印刷機リース料等)</p> <p>施設管理費合計 11,219,387円 内訳 光熱水費 9,907,401円 下水道使用料等 586,116円 その他 725,870円</p>						
成果と 課題	<p>[成果] 1 適正な管理を行いました。</p> <p>[課題] 2 継続的利用するため適正管理を行う必要があります。</p>						
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10,7,3,0 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0
評価点	10	10	3	5	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)			32	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止		
担当課による判定と理由							
B	体育施設の維持管理、振興のためにも継続が必要です。						

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	343	事業名	スポーツ少年団育成強化			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
				国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	987	943						943	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
認定養成講習会新規受講者年2人参加	人	目標				2			
		実績				5			
		達成率				250.0%			
県スポーツ指導者研修会参加者	人	目標				5			
		実績				4			
		達成率				80.0%			
事業の対象 (だれに)	スポーツ少年団員、指導者、保護者								
事業の目的 (なんのために)	スポーツ少年団活動を通して、子ども達の体力の向上と健全育成を図る。								
事業の実施状況	<p>○スポーツ少年団15団体で年間を通じて活動支援を行い、競技力アップとボランティア精神の育成などの健全育成を図りました。</p> <p style="margin-left: 20px;">内訳 スポーツ少年団保補助金 752,000円 保険手数料等 190,903円</p> <p style="margin-left: 20px;">団員数 352人 登録指導者数 57人</p> <p>○結団式 4月2日(土) 総合体育館</p> <p>○親子講演会 3月22日(水) まなびタウンとうはく 演題「何のためにスポーツをしていますか？」 講師 井上英之(清元院住職・元中学校教員・県教委指導主事)</p> <p>○指導者連絡協議会 3月22日(水) まなびタウンとうはく</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>1 スポーツ少年団15団体で年間を通じて活動を行い、競技力アップとボランティア精神の育成などの健全育成を図りました。</p> <p>[課題]</p> <p>1 スポーツ少年団の指導者が固定化する傾向にあるため、後継者育成の観点から新たな指導者を確保する必要があります。</p> <p>2 活動確認事項の徹底 行き過ぎた活動にならないよう、団活動と家庭・学校との両立を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動日は原則週3日以内：平日2時間、休日3時間 ・土曜日、日曜日のいずれかは休養日とする 								
									
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0	
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0	
							有効性 目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0	
評価点	10	10	3	3	3	1			
評価点計 (40点満点)	30		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					
担当課による判定と理由									
B	子ども世代からスポーツに親しむ機会を作ること、団員同士の交流、体づくりという点等からスポーツ少年団の重要性は高まっています。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1218	事業名	運動習慣定着推進事業				事業区分	□新規 ■継続																								
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係																												
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費																							
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考																								
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源																									
平成28年度	171	131					131																									
平成28年度(明許)																																
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30																									
元気に歩こう琴浦 を！参加者	人	目標			270(9地区)																											
		実績			213(9地区)																											
		達成率			78.0%																											
事業の対象 (だれに)	町民全般																															
事業の目的 (なんのため に)	ウォーキング・ノルディックウォーキング等を町民に推進し、運動習慣の定着を図る。																															
事業の 実施状況	<p>毎月1回、「元気に歩こう琴浦を！」ウォーキング教室を各公民館地区で開催しました。</p> <p>年間10回、第2日曜日に開催、参加者386人</p> <table border="0"> <tr> <td>4月10日 上郷地区</td> <td>27人</td> <td>10月9日 安田地区</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>5月8日 成美地区</td> <td>25人</td> <td>11月13日 赤碕地区</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>6月12日 古布庄地区</td> <td>31人</td> <td>12月11日 浦安地区</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>7月10日 以西地区</td> <td>22人</td> <td>1月1日 元旦ウォーキング 東伯</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>9月11日 下郷地区</td> <td>22人</td> <td>1月1日 元旦ウォーキング 赤碕</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3月12日 八橋地区</td> <td>43人</td> </tr> </table>								4月10日 上郷地区	27人	10月9日 安田地区	17人	5月8日 成美地区	25人	11月13日 赤碕地区	17人	6月12日 古布庄地区	31人	12月11日 浦安地区	8人	7月10日 以西地区	22人	1月1日 元旦ウォーキング 東伯	89人	9月11日 下郷地区	22人	1月1日 元旦ウォーキング 赤碕	85人			3月12日 八橋地区	43人
4月10日 上郷地区	27人	10月9日 安田地区	17人																													
5月8日 成美地区	25人	11月13日 赤碕地区	17人																													
6月12日 古布庄地区	31人	12月11日 浦安地区	8人																													
7月10日 以西地区	22人	1月1日 元旦ウォーキング 東伯	89人																													
9月11日 下郷地区	22人	1月1日 元旦ウォーキング 赤碕	85人																													
		3月12日 八橋地区	43人																													
成果と 課題	<p>[成果]</p> <p>1 ウォーキング教室を通して、町民の健康づくり推進を図りました。</p> <p>[課題]</p> <p>2 各地区公民館との連携で、自主的に活動するウォーキング人口を更に増やす必要 があります。</p>																															
																																
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0																							
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0																							
							公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0																							
評価点	10	10	3	3	3	3	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0																							
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0																							
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0																							
評価点 計 (40点満点)			32	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止																											
担当課による判定と理由																																
B	ウォーキングは身体への負担が少なく気軽に取り組みやすく、健康維持にもつながるため、本事業を継続し運動習慣の一環として定着させる必要があります。																															

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1187	事業名	琴浦でアーチェリー推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	298	176						176	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
アーチェリー教室 参加人数	人	目標			20				
		実績			12				
		達成率			60.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般								
事業の目的 (なんのため に)	琴浦町出身のオリンピック選手の川中選手の活躍を讃え、アーチェリー用具を配置し教室の開催で町内にアーチェリー競技の浸透を図り町の活性化につなげる。								
事業の 実施状況	アーチェリー教室開催 前期 6月18日～7月30日(毎週土曜日:7回)6人 後期 2月18日～3月18日(毎週土曜日:5回)4人 (総参加者数62人)								
成果と 課題	[成果] 1. アーチェリー教室を年に2期開催し競技の普及を図りました。								
	[課題] 1. 町内のアーチェリー競技人口が少なく教室参加者が限られるため、更なる競技の普及が必要です。 2. 自主活動の活性化が必要です。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
評価点	7	3	0	1	1	1	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
	評価点計 (40点満点)						13	判定基準	
A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止									
担当課による判定と理由									
D	町内のアーチェリー競技人口が少ないため、教室参加者が限定されやすい傾向にあります。今後は競技者の自主活動の支援に努めたいです。								



平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	335	事業名	郡・県・全国体育大会選手派遣			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	4,797	4,582					4,582		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
郡体全種目出場	種目	目標			35種目				
		実績			35種目				
		達成率			100.0%				
事業の対象 (だれに)	郡・県・全国大会出場者								
事業の目的 (なんのため に)	各種大会に町代表者として派遣し、競技力の向上や、町民の競技スポーツ離れの打開及び競技者の育成、健康づくりの習慣化を図るきっかけづくりとする。								
事業の 実施状況	○東伯郡民体育大会 20種目に1,315人を派遣しました。 男子7年連続優勝、女子2年ぶりの優勝					補助金	2,429,900円		
	○県民スポーツ・レクリエーション祭 秋季大会は鳥取中部地震により中止となりました。					補助金	14,400円		
	○全国大会 12種目に58人を派遣しました。 剣道、空手、卓球、ソフトバレーボール、ドッジボール					補助金	623,650円		
成果と 課題	[成果] 1 各種大会に選手を派遣し多数の参加があり、競技力の向上とスポーツ離れの打開及び健康づくりを図ることができました。								
	[課題] 1 郡民体育大会に出場する選手の確保及び育成（陸上女子、剣道女子、バスケットボール女子、テニス女子など）								
									
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0	
評価点	10	10	3	5	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点 計 (40点満点)			32	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	スポーツ振興及びレクリエーションを通じた体力向上・健康増進のためにも継続が必要です。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	334	事業名	社会体育指導及び推進			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	1,792	1,748					1,748		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
体力づくり教室参加者数	人	目標			40				
		実績			49				
		達成率			122.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般、スポーツ推進委員								
事業の目的 (なんのために)	町民が健康で明るく生活するため、スポーツ推進委員・体育施設スポーツ教室・ガイナレ鳥取等と連携した事業を中心に生涯スポーツを推進する。								
事業の実施状況	<p>○スポーツ推進委員との連携事業 体力づくり教室(スポーツテニス・ソフトバレー)5回開催、50人参加 月に一度のナイトスポーツデイ(ソフトバレー)5回開催、34人参加 町民体力づくりウォーキング、19人参加 町民体力づくりスポレク祭(スポーツテニス)、70人参加</p> <p>○スポーツ推進委員レベルアップ事業 中国地区スポーツ推進委員研修会参加 6/25~26、12人参加</p> <p>○体育施設スポーツ教室の開催 1~3期開催 元気貯筋、ニュースポーツ、ルネイクウォーク、琴浦体操&パタン 健康体操、気軽にウォーキング 年間571人参加</p> <p>○ガイナレ鳥取との連携事業 10/1 プレイイベントサッカー教室・JFAキッズサッカーフェスティバル開催 50人参加 10/23 琴浦町ホームタウンデイ開催(米子市)、バスツアー19人参加</p> <p>○スポーツ・レクリエーション祭in琴浦開催 6/5 6種目、464人参加 グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール バドミントン・パタン・バウンズボール</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>1. スポーツ推進委員が企画・運営まで自主的に活動し、町民の健康管理と共に委員の自主性が養われています。</p> <p>[課題]</p> <p>1. 職域、地域などへの参加呼びかけを行い、健康づくりの推進が必要です。</p>								
	 <p>体力づくり教室</p>				 <p>体育施設スポーツ教室</p>				
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
							行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0	
評価点	10	7	3	3	3	3	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点計 (40点満点)	29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					
担当課による判定と理由									
B	スポーツ推進員が行うスポーツの振興事業であるため継続が必要です。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	336	事業名	町体育協会育成及び各部奨励			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	2,165	2,109					2,109		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
町スポーツ教室参加者	人	目標				130			
		実績				120			
		達成率				92.0%			
事業の対象 (だれに)	町民全般								
事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげる。 ・ 全国大会などで優秀な成績を収められた方に対して表彰を行い、功績を讃え今後の活力につなげる。 								
事業の実施状況	<p>○体育協会事業 20競技部で38事業を行い、3,940人がスポーツに親しみ、健康づくり及び仲間づくりを図りました。 陸上、バレーボール、バスケットボール、野球、ソフトボール、卓球、水泳、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、テニス、スキー、剣道、相撲、ゴルフグラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトバレー、バウンスポール、武道館鏡開き ・ 体育協会補助金 1,484,910円</p> <p>○体育協会表彰式 体育振興及び郡・県・全国大会等で活躍された方に対して表彰を行い奨励しました。 2/26 まなびタウンとうはく、191人</p> <p>○琴浦町スポーツ教室開催 プロ野球トレーナーを招いて小・中学生・琴浦町民を対象とした体づくり教室を開催しました。12/23 旧安田小学校体育館 ・ スポーツ教室補助金 270,000円 ・ 参加者120人</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>1 体育協会事業 町民主体による大会を開催し、多数の参加があり生涯スポーツ振興が図られました。</p> <p>2 体育協会表彰式 10年以上体育振興された体育功労者、優秀指導者、及び全国・県・郡大会等で優秀な成績を収められた方に対して表彰を行い、今後の活躍の支援が図られました。</p> <p>3 琴浦町スポーツ教室開催 プロ野球選手のメディカルトレーナー及びアスレティックトレーナーから学ぶ実技と講演は、子どもや指導者・大人にも今後の体づくりに活かす事ができました。</p> <p>[課題]</p> <p>1 体育協会事業 20~30代のスポーツ人口の減少が目立つため、体育協会主催のスポーツ大会の内容を検討し、健康づくり・スポーツを通しての仲間づくりに励む参加者を増やす必要があります。</p>								
	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	10	7	3	3	3	3	妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0	
							有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
						先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0		
評価点計 (40点満点)	29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					
担当課による判定と理由									
B	健康維持促進を行うため、スポーツ推進を行う人材育成と人材確保に向けて事業の継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1150	事業名	勤労者体育センター管理運営			事業区分	□新規 ■継続												
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係															
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費										
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考											
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源													
平成28年度	624	589				206		383											
平成28年度(明許)																			
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30												
設定なし		目標																	
		実績																	
		達成率																	
事業の対象 (だれに)	町民全般																		
事業の目的 (なんのために)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、勤労体育センター管理を行う。																		
事業の実施状況	○東伯・赤碕 勤労体育センター2施設の管理を行いました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>管理費合計</td> <td>588,587円</td> </tr> <tr> <td>火災保険料</td> <td>42,346円</td> </tr> <tr> <td>清掃委託業務</td> <td>152,064円</td> </tr> <tr> <td>浄化槽点検委託料</td> <td>139,428円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>254,749円</td> </tr> </table>									管理費合計	588,587円	火災保険料	42,346円	清掃委託業務	152,064円	浄化槽点検委託料	139,428円	その他	254,749円
管理費合計	588,587円																		
火災保険料	42,346円																		
清掃委託業務	152,064円																		
浄化槽点検委託料	139,428円																		
その他	254,749円																		
	[成果] 施設の老朽化の中で一定の管理を行うことができました。 ・東伯勤労者体育センター軒樋撤去 ・赤碕勤労者体育センター非常用バッテリー交換 [課題] ○赤碕勤労者体育センターは、屋根に雨漏りが数箇所あるため屋根の修繕・検討が必要です。																		
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0										
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0										
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0										
評価点	7	3	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0										
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0										
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0										
評価点計 (40点満点)			20	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止														
担当課による判定と理由																			
B	赤碕勤労者体育センターは雨漏りがあるため屋根の修繕検討が必要です。 東伯勤労者体育センターは一般の利用に加え、中学校の授業や部活の利用もあるため継続しての維持管理が必要です。																		

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	349	事業名	社会体育利用施設管理			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係				
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3	体育施設費	
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債		一般財源
平成28年度	733	700					700	
平成28年度(明許)								
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30	
設定なし		目標						
		実績						
		達成率						
事業の対象 (だれに)	町民全般							
事業の目的 (なんのために)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、体育施設の維持管理を行う。							
事業の 実施状況	施設の維持管理を適正に行いました。 管理費合計 699,478円 内訳・手数料(モップ交換) 240,278円 ・修繕料 31,411円 ・その他 維持費 427,789円							
成果と 課題	[成果] ○各体育施設・グラウンド等の維持管理を行いました。 ○通常管理施設 ・総合体育館 東伯総合公園 赤碕運動公園 ・農業者トレーニングセンター ・勤労者体育センター(東伯・赤碕) ・閉校体育館(旧古布庄小・旧安田小・旧以西小) ・聖郷グラウンド [課題] ○スポーツの練習場所として、無人施設の適正な維持管理に努める必要があります。 特に近年人気のあるフットサル施設の整備が必要です。							
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	7	1	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		22		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止			
担当課による判定と理由								
B	閉校体育施設は、定期的確認を行い適正な管理が必要です。							

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	418	事業名	赤碓総合運動公園管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	6,053	5,689			1,037		4,652		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町内外利用者								
事業の目的 (なんのため に)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、運動公園の維持管理を行う。								
事業の 実施状況	<p>運動公園施設の維持管理を行いました。</p> <p>公園管理費合計 5,688,197円</p> <p>内訳 管理費(人件費) 2,387,232円</p> <p>修繕料 447,229円</p> <p>電気設備・消防設備保守委託料 1,137,497円</p> <p>その他 維持費 1,716,239円</p>								
成果と 課題	<p>[成果]</p> <p>1. 施設の老朽化の中で、一定の管理を行うことができました。</p> <p>○修繕内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内水銀灯安定器取替 ・多目的広場ナイター照明手動化工事 ・管理機械修繕 <p>[課題]</p> <p>1. テニスコート人口芝の張替修繕を部分的に行っていますが、利用が多いため、人口芝の損傷の進行が著しいです。1コート全範囲の修繕を行い、安全・快適にプレイできる環境整備に努める必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	7	3	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点計 (40点満点)	20		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					
担当課による判定と理由									
B	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、運動公園の維持管理が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)				備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	20,735	12,658			1,723		10,935		
平成28年度(明許)	7,743	0					7,743		
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町内外一般利用者								
事業の目的 (なんのため)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、体育館・運動公園の維持管理を行う。								
事業の実施状況	<p>○東伯総合公園内の施設管理を適正に行いました。</p> <p>公園管理費合計 12,658,038円</p> <p>内訳 管理費(人件費) 4,381,688円</p> <p>修繕料 1,117,814円</p> <p>電気設備・消防設備保守委託料等 4,118,598円</p> <p>その他 維持費 3,039,938円</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>○施設の老朽化の中で、一定の管理を行うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料(施設・管理機械) ・備品購入費 卓球台2台 テニス審判台4台 <p>[課題]</p> <p>1. 公園内の上下水道施設の整備は広範囲に及ぶため、既存の施設(井戸)の継続利用も含めて総合的に整備範囲を検討する必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	10	7	5	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点 計 (40点満点)		29		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	この公園施設は町民の健康づくりの活動拠点として重要な役割を果たしています。活動拠点の基盤整備を継続することが必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1371	事業名	東伯総合体育館耐震対策事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	205,550	4,700				3,800	900	200,834千円繰越	
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町内外一般利用者								
事業の目的 (なんのために)	体育館の吊り天井、照明設備並びに窓・ガラス等について耐震化を図り、安心・安全な環境の整備と施設の防災機能強化を推進する。また、これらに併せて施設のリニューアルを行う。								
事業の実施状況	工事設計委託業務を完了しました(契約額4,644千円)。工事及び監理委託業務は平成29年度実施の予定です。								
成果と課題	<p>[成果] 施設の耐震化以外に、トイレ改修・温水シャワー増設等を盛り込み、防災機能を高める観点から設計を行いました。</p> <p>[課題] 今回工事対象としなかった老朽化に伴う施設の修繕等については、通常の一般管理事業において検討する必要があります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">アリーナの天井落下の状態</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	10	10	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点計 (40点満点)			30	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	設計において、トイレ改修・温水シャワー増設等を盛り込み、避難所としての機能強化を図りました。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源			
平成28年度	3,761	3,654				703	2,950		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町内外全般								
事業の目的 (なんのために)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、体育館の維持管理を行う。								
事業の 実施状況	<p>○農業者トレーニングセンターの施設管理を適正に行いました。</p> <p>施設管理費合計 3,652,549円</p> <p>内訳 管理費(人件費) 1,996,560円</p> <p>修繕料 251,312円</p> <p>電気設備・消防設備保守委託料等 424,072円</p> <p>その他 維持費 981,605円</p>								
成果と 課題	<p>[成果]</p> <p>○施設の老朽化の中で、一定の管理を行うことができました。</p> <p>○修繕料 251,312円</p> <p>・発電機修繕 129,600円</p> <p>・事務室非常放送バッテリー取替 32,292円</p> <p>・その他修繕 89,420円</p> <p>[課題]</p> <p>○外壁爆裂などの修繕が必要です。</p> <p>○屋根雨漏りの対策が必要です。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	10	10	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点 計 (40点満点)			30	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	総合体育館アリーナの利用中止に伴い、利用実績が増加しました。総合体育館アリーナが利用再開するまでの代替施設として、また赤碕地区の運動拠点施設と事業継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	350	事業名	平岩記念会館管理運営			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	503	485			191		294		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
	町内外利用者								
事業の目的 (なんのために)	集団宿泊、休憩、会議の開催を通じて町民の資質の向上、融和を図り、町勢発展に資するため、平岩記念会館の管理を行う。								
事業の実施状況	<p>○スポーツ少年団や青年団、白鳳太鼓練習、町外団体など年間を通じて利用がありました。</p> <p>施設管理費合計 484,857円</p> <p>内訳 電気設備・消防設備保守委託料 302,400円</p> <p>その他 維持費 182,457円</p> <p>利用者数 1,326人</p> <p>施設利用料 191,880円</p>								
成果と課題	<p>[成果]</p> <p>○施設の老朽化の中で、一定の管理を行うことができました。</p> <p>[課題]</p> <p>○総合公園内の貯水タンク及び圧力ポンプの老朽化により、大人数の水道利用は水不足を招く恐れがあります。この課題は、総合公園内の既設水道(井戸)の継続利用と新たな上水道の整備を総合的に考えなら解決していく必要があります。</p> <p>○利用者増のためのPRが必要があります。</p>								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	7	1	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)		22		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	青少年の宿泊合宿や研修の場としての活用もあるため管理の継続が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1264	事業名	閉校管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	3,832	3,633					3,633		
平成28年度(明許)									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町内利用者								
事業の目的 (なんのため に)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、閉校体育館の維持管理を行う。閉校施設(旧古布庄小・旧安田小・旧以西小)								
事業の 実施状況	<p>○閉校施設の適正な管理を行いました。</p> <p>施設管理費合計 3,632,920円</p> <p>内訳 光熱水費等 1,539,073円</p> <p>修繕料 901,800円</p> <p>電気設備・消防設備保守委託料 732,000円</p> <p>その他 460,047円</p>								
成果と 課題	<p>[成果]</p> <p>施設の老朽化の中で、一定の適正管理を行いました。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者が少なく、常駐者もないため施設の損傷状態に気づきにくいです。 定期的な点検が必要です。 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
							妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0	
							公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0	
評価点	3	3	1	3	3	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0	
							効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0	
							先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0	
評価点計 (40点満点)			14	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
C	施設管理の見直しを行い継続して維持管理が必要です。								

平成 28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価


一般会計

事業番号	1334	事業名	鳥取中部地震災害対策事業（地震災害復旧費・社会教育課）			事業区分	■新規 □継続		
担当課	社会教育課		担当係						
予算区分	款	10	災害復旧費	項	2	地震災害復旧費	目	2	鳥取県中部地震対策費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	4,115	1,342				1,100	3,015		
平成28年度(明許)	2,758					100	2,658		
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業の対象 (だれに)	町民全般								
事業の目的 (なんのため に)	地震被害箇所の修繕								
事業の 実施状況	各施設の地震被害状況調査を行い、安全面と構造体への影響を鑑み修繕計画を立て修繕可能な建物から修繕を行いました。								
成果と 課題	<p>[成果] 実施済み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 桐谷家外壁修繕 278千円 2. 平岩記念会館瓦・外壁修繕 580千円 <p>[課題] 未実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東伯勤労者体育センター修繕 2. まなびタウン多目的ホールダウンライト修繕 3. 赤碕武道館外壁修繕 								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
評価点	7	10	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0							
評価点 計 (40点満点)		27		判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	年度内の執行に努めましたが、施行業者の不足により不落札となった工事もあったため繰越を行ないました。								

平成 **28** 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	329		事業名	図書館活動費			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
担当課	社会教育課			担当係	図書館				
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	6	図書館費
年度	最終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成28年度	35,581	34,635			16		34,619		
329									
活動項目	単位	年度	26(実績)	27(実績)	28(実績)	29	30		
来館者率 (来館者数/人口)	%	目標	3.16	3.73	4.25	4.12			
		実績	3.73	4.25	4.12				
		達成率	118.0	113.9	96.9				
事業の対象 (だれに)	町民全般								
事業の目的 (なんのために)	図書資料の充実を図り、本に親しむ機会を提供するとともに、各種情報を提供します。また、保育園・こども園・小・中学校・公民館などと連携をとり読書活動の推進を図ります。								
事業の実施状況	○図書館利用として下記のとおりでした。図書購入費 5,699千円 1 年間来館者数 74,448人 年間貸出者数 29,377人 2 年間貸出冊数 136,738冊 年間購入冊数 3,423冊 3 移動図書館車:年間貸出者数 2,816人 年間貸出冊数 8,576冊 ○子どもの読書推進として下記のとおり実施しました。ブックスタート等事業費 514千円 1 ブックスタート 6ヶ月児:年10回 107人参加、3歳児:年7回 119人参加 2 おはなし会 本館:毎週土曜日 270人参加、分館:毎週土曜日 166人参加 3 出前おはなし会 年10回 443人参加 ○図書館利用促進として下記のとおり実施しました。イベント事業費 184千円 1 七夕まつり 150人参加、クリスマス会 本館:50人参加、分館:70人参加 2 映画会 年7回 84人参加 3 古文書講座 23人参加								
	〔成果〕 1 概ね来館者率は達成することができました。 2 出前お話をを行うことにより読書習慣の一助となりました。  3 談話コーナーの活用により、各種事業のPRが図れました。 〔課題〕 1 イベントや図書展示がマンネリ化にならないように工夫していきます。 2 書棚が手狭になってきているので、本の循環に力をいれていきます。 3 談話コーナーの更なる活用を図っていきます。								
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
							妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
							公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
評価点	7	10	3	3	3	1	有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
							効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価点計 (40点満点)			27	判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
担当課による判定と理由									
B	目標達成率は、100%を超えませんでした。概ね来館者率を達成しました。町民の生涯学習・情報収集等にとって必要な施設であり、事業継続すべきです。								